平成27年度

自然エネルギーを活用した地域活性化

あなたのまちの活力につながる

自然エネルギーの活用法について改めて考えてみましょう

太陽光、風力、水力、バイオマス等の自然エネルギーの利用拡大は、温暖化・気候変動対策の視点からも促進が課題とされてきましたが、東日本大震災後、災害時のエネルギー供給等からも、また、地域活力の増進のためにもその重要性が認識されてきました。しかし、固定価格買取制度が実施されたにも関わらず、地域への還元が見込まれない事例や、設備認定を取りながら着工しない案件、景観破壊や土砂災害の誘発等の課題も指摘されてきました。

そのようななかで、平成26年度に行われた制度改正により、設備認定と運用方針が見直され、自然エネルギーの利用拡大、地域資源（金融機関等）を活用した産業の育成や雇用の創出等による地方創生へ繋げていくことが期待されています。

本研修では、講義を通じて自然エネルギー利用をめぐる最新の状況を学んでいただくとともに、演習では、受講者がそれぞれの地域の現状を把握し、自然エネルギー活用のための技術から合意形成・資金調達までの作戦をたて、それぞれの地域にお持ち帰りいただくことを目指します。

すでに施策を実施しておられるところも、これからのところも、地域が元気になる自然エネルギー活用に向けて次の一手を設計するために、皆様のご参加をお待ちしております。

研修のポイント

◆地域の様々な資源を、地域目線で把握して自然エネルギーの活用に向けて取り組むことの重要性、適正技術・適正価格の視点の重要性、住民参加型の計画の意義について考えます。

◆演習では、受講者それぞれの希望や地域での取り組み状況などにより、個人（個別自治体のプラン作成）またはグループ（グループでのプラン作成）で、受講者の地域の自然エネルギーの活用取り組み状況に応じた演習を行います。

開　催　要　領

日　程	平成28年2月3日（水）～2月5日（金）（3日間）
場　所	全国市町村国際文化研修所　JR京都駅より湖西線約15分　唐崎駅下車徒歩約3分
対　象	・自然エネルギーの活用・見直しを検討している市区町村・都道府県の職員 3日間全日程をご受講いただける方を対象とします。途中退所や一時帰庁はできませんのでご注意ください。 ※議員及び行政と協働実績のあるNPO職員の方も参加可能ですが、本研修は市区町村職員を対象とした研修のため、実務的な内容となっておりますのでご留意ください（各自治体の現状や施策を基に、グループで討議をしていただく時間もあります。）。また、申込人数によっては受講をお断りすることがありますので、予めご了承ください。なお、議員の方は、必ず議会事務局を通じてお申し込みください。
募集人数	40人 募集人数を大幅に超えた場合は、申込期限後に抽選等をさせていただきますので、予めご了承ください。 なお、受講者の決定については、他の研修、セミナーの申込み・受講の有無にかかわらず、本研修単独で行います。
宿　泊	研修所宿泊棟（宿泊型研修）　※外泊はできません。
経　費	10,500円 上記金額は、研修、宿泊、食事（朝食2回、昼食3回、夕食2回）、資料等にかかる費用です。 なお、事前準備・事前学習にかかる費用は含まれておりません。
申込期限	平成27年12月21日（月）まで
申込方法	JIAMホームページ内「Web申込み」からお申し込みください。 議員の方は、議会事務局を通じてお申し込みください。 「Web申込み」が難しい場合は、FAXでも受け付けています。
受講決定	受講の可否については、開講日の約1か月前までに通知をお送りします。 経費納入方法等の手続きについては、受講決定通知書によりお知らせします。
事前課題	研修受講にあたって、事前課題に取り組んでいただきます。詳細は受講決定通知書送付時にお知らせします。

問い合わせ先

公益財団法人 全国市町村研修財団
全国市町村国際文化研修所（JIAM）教務部
〒520-0106 滋賀県大津市唐崎二丁目13番1号
TEL077-578-5932　FAX077-578-5906
[e-mail] kenshu@jiam.jp　[ホームページ] http://www.jiam.jp

[研修の内容及び日程]

2/3（水曜日）

11:00～ **入寮受付・昼食**

12:30～ **開講・オリエンテーション**

13:00～13:50 **【講義】自然エネルギー利用の背景と課題**

東京農工大学　名誉教授　**堀尾　正靱** 氏

自然エネルギーを取り巻く情勢や、国の動向等についてご説明いただきます。

14:00～14:50 **【講義】自然エネルギー政策の現状と課題**

認定NPO法人環境エネルギー政策研究所　主席研究員　**松原　弘直** 氏

固定価格買取制度（FIT）を中心に、制度の概要や課題についてお話しいただきます。

15:05～15:55 **【講義】地域のエネルギー賦存量・利用可能量の把握と導入計画**

東京大学先端科学技術研究センター　特任研究員　**谷口　信雄** 氏

自治体における地域の自然エネルギー賦存量及びエネルギー消費量を導入に向けてのポイントについてお話しいただきます。

16:00～16:40 **【演習】課題演習（導入）**

東京農工大学　名誉教授　**堀尾　正靱** 氏

16:40～17:30 **【演習】課題演習（討議）**

東京農工大学　名誉教授　**堀尾　正靱** 氏
認定NPO法人環境エネルギー政策研究所　主席研究員　**松原　弘直** 氏
東京大学先端科学技術研究センター　特任研究員　**谷口　信雄** 氏
早稲田大学環境総合研究センター　上級研究員　**岡田　久典** 氏

2日目以降の個人及びグループ演習を行う上で施策の立案及び見直しのポイントについて各講師陣よりアドバイスをいただきながら演習に向けた準備を行います。

18:00～ **交流会**

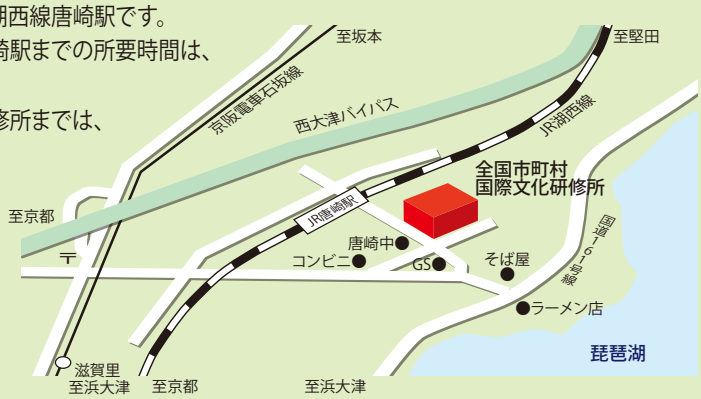
夕食を兼ねて、ともに学ぶ受講者同士の親睦（情報交換・交流）を深めます。

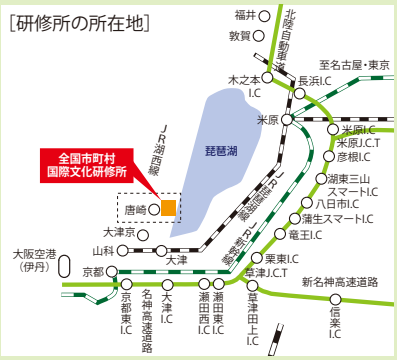
JIAM メールマガジンのお知らせ

当研修所では、メールマガジンを発行しています。各研修に関する最新情報などを定期的にお知らせします。ぜひご登録ください。読者登録は、JIAM ホームページで受け付けています。

研修所までの交通のご案内

■最寄り駅は、JR湖西線唐崎駅です。
■JR京都駅から唐崎駅までの所要時間は、約15分です。
■JR唐崎駅から研修所までは、徒歩約3分です。





2/4（木曜日）

9:00～9:50 **【講義・事例紹介】太陽光発電および再エネ制度設計**

早稲田大学環境総合研究センター　上級研究員　**岡田　久典** 氏

地域における太陽光利用の特性と現状、課題について解説いただきます。

10:00～10:50 **【講義・事例紹介】風力**

ウインドコネクト株式会社　代表　**斉藤　純夫** 氏

地域における風力利用の特性と現状、課題について解説いただきます。

11:00～11:50 **【講義・事例紹介】小水力発電**

長野県環境部環境エネルギー課新エネルギー推進係　担当係長　**春日　隆** 氏

地域における小水力利用の特性と現状、課題について解説いただきます。

12:50～13:40 **【講義・事例紹介】バイオマス**

NPO法人バイオマス産業社会ネットワーク　理事長　**泊　みゆき** 氏

地域におけるバイオマス利用の特性と現状、課題について解説いただきます。

13:50～15:40 **【演習】課題研究（個人/グループ）**

東京農工大学　名誉教授　**堀尾　正靱** 氏

講義内容を踏まえながら、自治体における自然エネルギーを活用した施策案を検討します。

なお、受講者それぞれの地域での取り組み状況や希望などにより、個人またはグループで施策案を作成していただきます。

15:40～17:00 **【演習】課題演習（グループ）**

東京農工大学　名誉教授　**堀尾　正靱** 氏

作成した施策案を参考にグループ演習を行い、他者の意見を聞くことでより一層地域の活性化に繋がる施策案に仕上げていきます。

17:00～ **課外学習**

2/5（金曜日）

9:25～12:00 **【演習】課題演習（発表・質疑応答）**

東京農工大学　名誉教授　**堀尾　正靱** 氏

作成した施策案を発表をし、全体で情報共有をします。

13:00～14:10 **【講義】課題演習（総括・講評）**

東京農工大学　名誉教授　**堀尾　正靱** 氏

施策案の発表内容に対して、先生より講評をいただきます。また、3日間の研修のまとめの講義をしていただきます。

14:10～14:40 **ふりかえり・研修アンケート記入・閉講**

◎研修内容については、都合により変更になることがありますので、予めご了承ください。
　なお、研修についての最新情報は、JIAM ホームページをご覧ください。
◎受講者による講義中の録音・写真撮影は、固くお断りしております。
◎当研修所では、宿泊室を全室禁煙としております。喫煙は所定の喫煙場所でお願いいたします。

FAXでのお申込は矢印の方向に

平成27年度 受講申込書

研修名及び時期	自然エネルギーを活用した地域活性化 平成28年2月3日（水）～2月5日（金）（3日間）			
市区町村コード番号			※全国市町村要覧に記載のコードを6桁で記入してください。 （例：１２３４５－６の場合、１２３４５６と記入）	
団体名	都道府県		市区町村組合	
所在地（受講決定通知送付先）	〒		申込手続の担当課名	
			担当者名	
			電話番号	
			FAX番号	
			e-mailアドレス	
受講者	所属			
	役職名			
	職階（○印を記入）	1部長級　2課長級　3課長補佐級　4係長級　5主査級　6主任･主事･技師等級 ※自治体職員の方のみ記入してください。 ※不明の場合は、「6 主任･主事･技師等級」を選択してください。		
	ふりがな			
	氏名			
	年齢（研修開始日現在）	歳	性別	男・女
	本研修関連職務の通算経験年月数（研修開始日現在）		年　ヶ月	
NPO等の方	団体の活動内容、行政との協働実績等をご記入ください。			

上記のとおり、研修の受講を申し込みます。

平成　　年　　月　　日

団体の長の職　氏名

全国市町村国際文化研修所学長　あて　　公印省略可

この申込書でご提供いただきました個人情報は、今回の研修実施のために使用します。なお、個人情報を集計して個人を特定できない統計資料を作成するために利用する場合があります。

全国市町村国際文化研修所（JIAM）教務部　FAX 077-578-5906